

令和 4 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

埼玉県

行 事 名 称	文化財防火デー火災防御演習
実施期間・日時	令和 4 年 1 月 2 2 日（日） 9 : 0 0 ~ 1 0 : 1 0
実 施 場 所	妻沼聖天山歓喜院
主 催 者	熊谷市消防本部、熊谷市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

連日の晴天続きにより空気が非常に乾燥し、乾燥注意報が発令され、県は火災気象通報を各市町村へ通報した。また、前日から大陸の高気圧が一段と強くなったため、熊谷地方気象台は、埼玉県北部地方に平均風速は毎秒 1 1 m、最小湿度は 2 5 % 以下になる見込みと発表した。

午前 9 時頃、妻沼聖天山境内にある籠堂（こもりどう）から出火。熊谷市消防本部（5 隊）及び熊谷市消防団（1 0 隊）が出動。出動途上、指令センターから籠堂で発生した火災は折からの強風により延焼拡大中との支援情報を受信する。先着の熊谷指揮 1 号車隊が現場到着時、籠堂は既に火災最盛期であり一部が崩落していた。関係者から「初期消火に向かったまま戻らない男性がいる。」との情報を得た指揮隊長は、出動中の各隊へ周知し、熊谷救助 1 号車隊及び妻沼 1 号車隊に要救助者の救助活動、中央 3 号車隊に炎上している籠堂の消火活動を下命した。さらに、出動中の各分団へ隣接建物の延焼阻止と飛火警戒にあたるよう指示した。

訓練の内容

妻沼聖天山副院長主及び聖天山防災協力隊による火災発見、通報、初期消火（消火器）を実施。消防本部及び消防団による要救助者の救出、放水訓練を実施。市教育委員会による放水訓練、文化財の搬出を実施。

参加者及び役割分担

- (1) 妻沼聖天山副院長主：火災発見、1 1 9 番通報
- (2) 熊谷市消防本部（5 隊）
 - 熊谷指揮 1 号車隊：情報収集及び指揮活動
 - 妻沼 1 号車隊：要救助者の救出、放水による消火活動
 - 熊谷救助 1 号車隊：要救助者の検索活動、要救助者の救出、残火確認
 - 中央 3 号車隊：中継送水、放水による消火活動、
 - 救急妻沼 1 号車隊：要救助者の応急処置
- (3) 熊谷市消防団（1 0 隊）
 - 団本部中隊：現場広報及び周囲の安全管理
 - 団本部小隊：消火活動、中継送水、飛火警戒活動、
- (4) 聖天山防災協力隊：火災発見、初期消火、文化財の搬出、放水銃による消火活動
- (5) 熊谷市教育委員会：文化財の搬出、放水銃による消火活動の補助

特に工夫した点

各担当部署の連携を図るために、直前に申し合わせを行った。

問題点・課題

放水銃の使用に際してのポンプの稼働が想像以上に時間がかかってしまい、今後の適正な管理の必要性を実感した。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、市消防本部・市教育委員会・地元消防団及び地区住民の連携を図り、いざという時の初動が可能なように今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景



初期消火



放水銃による消火活動



文化財の搬出

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

〇〇県

行 事 名 称	〇〇神社消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和4年1月26日（木） 8：30～9：00
実 施 場 所	国宝〇〇寺本堂ほか（〇〇県〇〇市〇〇町〇〇ー〇〇）
主 催 者	〇〇寺、〇〇消防署、〇〇市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

〇〇神社境内にある社務所の石油ストーブが異常燃焼により出火炎上し、南西からの風により、重要文化財〇〇神社本殿に延焼する恐れがあると想定。また、境内の消火栓が不具合で、400m離れた場所からポンプ車を中継して放水することを想定。

※失火や放火など具体的な想定内容を記載

訓練の内容

〇〇神社職員による火災発見、通報、初期消火（バケツリレー・消火器）、重要物品（模擬）の搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。

※具体的に記載

参加者及び役割分担

〇〇神社職員 （3名）：119番通報、初期消火、重要物品の搬出
〇〇地区住民 （5名）：初期消火、重要物品の搬出、参拝者の避難誘導
〇〇市消防団 （5名）：放水訓練
〇〇市消防署 （8名）：全体統括、放水訓練、講評
〇〇警察署 （1名）：参拝者の避難誘導、交通整理
〇〇市教育委員会（2名）：現場立会い

※参加者（文化財所有者、地域住民、消防署、警察、教育委員会など）と役割分担を具体的に記載

特に工夫した点

地元の防災器具取扱業者が今年度から参加し、防火診断と防火設備点検を消防署とともに実施。
境内の消火栓の不具合を想定し、今回初めてポンプ車による中継放水訓練を実施。
コロナ対策で、訓練参加者はマスクの着用と手信号を活用し、訓練を実施した。

※特に工夫した点や今回の訓練の特徴を具体的に記載

問題点・課題

今年度のように特に積雪が多い年は、例年以上に対象の建物とその周辺、道路などを定期的に除雪し、消火活動が迅速に行うことができる状況を維持することが課題。
地区住民の高齢化による訓練参加者の減少。

※今回の訓練実施により明らかとなった

問題点・課題・改善点等を具体的に記載

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

※日頃の取組や今後の展望など自由に記載

訓練風景

訓練写真

放水訓練

※別紙による提出も可。